

2020年9月23日

出版

本体 1600 円 + 税
(B6 判 160 ページ)



日本の近代登山史に名を刻む武田久吉も注目していた丹沢・大山の山岳宗教の歴史と遺物…宗教思想史研究者が各地に潜む原資料を渉猟し読みとき、中世の時代に遡り山伏の足跡と村里の関わりを再現！

ISBN978-4-86158-095-6 C0021

丹沢・大山・
相模の村里と山伏
歴史資料を読みとく

山伏と修験道から見たわかりやすい歴史の本

江戸時代までは、約 200 軒ぐらいの民家があればそこには山伏寺が必ず一軒ぐらいはありました。丹沢山地の山麓では、毎年春の新緑の頃、法螺貝を吹き鳴らしながら山の修行から下りてきた山寺の山伏たちが村々を巡り村人たちと交流をしていました。日本人はずっと山伏と共に暮らしていたのです。そんな伝統文化も明治 5 年（1872）に政府が山伏の活動を禁止したことで終わりを告げました。日本人の多くが忘れてしまった過去を当時の記録から思い起こしてみませんか？

【著者】城川隆生（きがわたかお） 神奈川県秦野市出身

もと神奈川県立高校社会科教諭、日本山岳修験学会会員、相模国霊場研究会会員
日本宗教思想史研究者、万象房代表（東京都町田市）

著書：『丹沢の行者道を歩く』（白山書房）、『神奈川県の歴史散歩』（共著、山川出版社）
ほか論文多数

【発行】夢工房 〒257-0028 神奈川県秦野市東田原 200-49 TEL:0463-82-7652

●メールでのご注文：yumekoubou-t@nifty.com（送料無料）

●FAX でのご注文：0463-83-7355（送料無料）

夢工房は、神奈川県の緑の砦・丹沢山麓にある出版社です。1988 年の創業以来、地域の歴史・自然・生活文化を耕し地域に暮らす人々の生活の息吹を形にする出版活動を続けています。

●書店でのご注文：ご記入の上ご注文下さい。ISBN978-4-86158-095-6 C0021

丹沢・大山・相模の村里と山伏 ～歴史資料を読みとく	ご注文数 冊	日付 年 月 日	お名前・住所・TEL／ご書店名
------------------------------	---------------	------------------------	-----------------